

防災塾

No.7

巨大地震発生

家の中で固定していない物は
**動く、飛ぶ、飛び出す、倒れる、
 落ちる、崩れる、壊れる…**

地震が起き、大揺れで家財が飛散する中、家族を助けられますか？
地震で1番大事なのは、この間に各々が絶対に「死なない」「ケガをしない」と、自分を守ることです。

もし、「死んだり」「ケガ」をしたら、あなたは「助ける人」から「助けを求める人」「助けられる人」になってしまいます。

午後2時46分、震度6強の激震。
 棚からつばが落ちて割れ、テレビを押さえようとした副町長が横に飛ばされた。
 隣の秘書室から悲鳴が聞こえ、駆けつけると女性が書棚の下敷きになっていた。急いで救助すると、総務課から「町が全部やられた」と叫ぶ声があった。

朝日新聞 東日本大震災
 「てんでんこ」浪江町より抜粋

自分や家族が部屋の中で
**「死んだり」、「ケガ」
 をしない対策は出来ているか!!**

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの死者の多さを!!
 もうテレビも新聞もたまに取り上げるだけ、「自分の所にはこない」と他人事、都合の良いように考え、忘れるようにして何もしていないのでは。

**地震がここでも必ず起きる。しかも、今、今日、明日と
 考え、各自が事前に備える「耐震対策」しかありません。**

命を大事に、すぐに対策を!!

※対策や対策用品の最新情報は、ホームセンターの地震対策コーナーやインターネット、図書館の図書などでも調べられます。
 管理センターで少しパネル紹介しています。

**地震に無関心では、自分や家族を守れません。
 ぜひ、今後開催する「防災塾」へ足を運んでください。**

「防災塾」の開催日は階段下掲示板へ貼り出します。
 「防災塾」塾長・防災士 竹内 一三 ☎046-254-7137
 後援：相武台グリーンパーク災害対策合同会議